

9月 給食だより

令和 4 年 9 月 1 日
狛江市立和泉小学校
校長 鷲見 真太郎
主任栄養教諭 早乙女 理恵

夏休みが終わりました。皆さんはどのように過ごしましたか？9月に入りましたが、まだまだ暑い日が続きます。休み明けの体調管理に気を付け、早寝早起きの生活リズムを整え、元気に登校しましょう。

和泉小 畑プロジェクト 夏偏の報告

3月下旬におやじの会、農家の富永さんの協力により、和泉小の畑プロジェクトを立ち上げました。トラクターで畑を耕し、肥料を入れ、マルチを張り、夏野菜が作れるような畑にしてくださいました。どのような野菜を育てたいか、理科栽培委員からのリクエストを見てみると富永さんが考えていた野菜とほぼ一致したので、すぐに種や苗を準備してくださいました。そして4月下旬、おやじの会、富永さん、理科栽培・給食委員、そして先生方で畑に夏野菜の種まき、苗植えを行いました。作った野菜は「トマト・ミニトマト」「なす」「とうもろこし」「オクラ」「かぼちゃ」「大玉・小玉スイカ」「じゃがいも」「枝豆」です。とても立派な畑が出来上がりました。



途中、枝豆の双葉をほとんど鳥に食べられてしまったり、せっかく赤くなり始めたトマトをハクビシンに食べられてしまったりしましたが、これが農業の大変さだと改めて実感しました。そのたびに富永さんに相談し、枝豆をまきなおしたり、支柱を立てたり、鳥よけを設置していただいたり、陰ながら応援していただきました。今年は梅雨が短く、あまり雨も降らないうちに真夏の暑さになり、急激に野菜が成長しました。特に暑さに強いトマトは大豊作でしたが、雨が少なく高温だったため、後半は日焼けを起こすトマトが出てきました。



6月中旬に待望の収穫第一号！トマトとなすが収穫できました。収穫は理科栽培委員にお願いしましたが、とてもうれしそうでした。いつも食べている野菜がどんどん成長している姿を見るのは、楽しく新しい発見もあったようです。そして委員の児童は、毎朝必ず雑草を抜いてくれました。野菜の生長が早いか、雑草の生長が早いか、と夏場は雑草との闘いになりますが、特に6年生が「雑草抜き隊」として率先して働いてくれました。最後は鎌の使い方がプロのようになっていました。そして野菜がたくさんでき始めると、他学年の児童も興味をもって畑に足を運んでくれるようになり「収穫し隊」として、野菜の収穫を手伝ってくれました。また虫取りもやっていました。



7月に入るとかぼちゃ、そして狛江といえば「枝豆」の収穫です。7月5日の「こま井」には、富永さんの野菜だけでなく、学校のかぼちゃ（10キロ）、枝豆（11株）、なすも入れてまさに地産地消のこま井になりました。とてもおいしくでき、残菜もほとんどありませんでした。



7月中旬にはスイカ、とうもろこしなどの大型野菜と、6年生の理科の実験のために植えたじゃがいも（メークイン）の収穫を迎えました。枝豆は大豆になりかけているものがあったので、それは畑に置いたままにして大豆にします。残りを全て収穫し、先生方の協力を得てさやもぎを行いました。なんと9キロもとれ、それを7月14日の枝豆パンにしました。朝早くから調理員が出勤し、枝豆をゆでておき枝豆にすると3.5キロになりました。万が一のために購入しておいた冷凍枝豆を一切使うことなく、おいしい焼きたて枝豆パンを作ることができました。6個とれたスイカ15キロと、じゃがいも13キロ、トマト7.6キロ、ナス・オクラは15日の夏野菜のカレーライスとフルーツポンチになりました。



夏休みに入り、まだ野菜が収穫できていたので、袋詰めにして教職員で買い取っています。夏野菜はおやじの会や富永さんのご厚意に甘えたので、今回の収益は秋冬野菜の種や苗に使っていきます。